

2006 年度

科目名 医学一般	対象学科・学年 文学部教福2回生 教育教福2回生	担当者 雪村 時人
授業テーマ 人体の構造と機能および疾病の概要		
授業の概要と目標 器官別に人体の構造と機能について解説し、生活習慣病、精神疾患、高齢者に特徴的な病気など社会的に問題となる疾患の病態、診断、治療などを概観する。社会福祉を学ぶにあたって必要な医学知識を習得するとともに我が国の保健医療制度をについて学習することが目標となる。		
評価方法 学年末テストの成績により評価します。 また随時レポートを課し、その内容も考慮します。		
テキスト 社会福祉士養成講座13 医学一般 (第3版)	著者 福祉士養成講座編集委員会	出版社 中央法規
参考書 国民衛生の動向 厚生統計協会編 図説国民衛生の動向 厚生統計協会編 厚生労働白書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 人体の構造と機能 (7回) 人体の構造と機能の基礎的知識は病気や障害の理解に重要となる。いくつかの臓器が連携、共同してそれぞれの器官系の目的とする機能を果たしているが、それぞれの器官系(呼吸器系、消化器、泌尿器、循環器、支持・運動器官、内分泌器、神経系など)について全体像だけでなく、病気や障害と関係付けて解説する。 2. 代表的な疾病の概要 (11回) ● 先天性疾患 ● 感染症 ● 神経疾患 (パーキンソン病など) ● 精神疾患 (うつ、統合失調症、アルコール依存症など) ● 生活習慣病 (糖尿病、高血圧症、高脂血症、脳卒中、心臓病、ガンなど) ● 高齢者の疾病 (骨粗しょう症、大腿骨頸部骨折など、痴呆ないし認知症) ● その他 3. リハビリテーション医学 (3回) 4. 公衆衛生の現況 (1回) ● 人口統計と生命表、受療の状況 5. 保健医療行政 (3回) ● 保健対策 ● 感染症対策 ● 精神保健福祉対策 ● 難病と難病対策 6. 医事法制の概要 (1回)		